

秋の交通安全運動

九月二十一日～三十日

楽しかった夏休みも終って、子供たちは新学期。これまでの開放的な毎日から生活のリズムが変わり、注意力が散漫になって、交通事故に結びつきやすくなります。お年寄りも外出の機会がふえ、交通事故にあいやすい時期です。また、夏の疲れの出るドライバーにとっても注意をしなければなりません。例年、過労による交通

死亡事故は、スピードの出し過ぎ、酒酔い運転について多く発生しています。そこで、今年も九月二十一日から十日間「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が展開されますが、運動スローガンは、次の三つです。▼安全運転の確保、特に無謀運転の防止
▼歩行者、特に老人と子供の交通

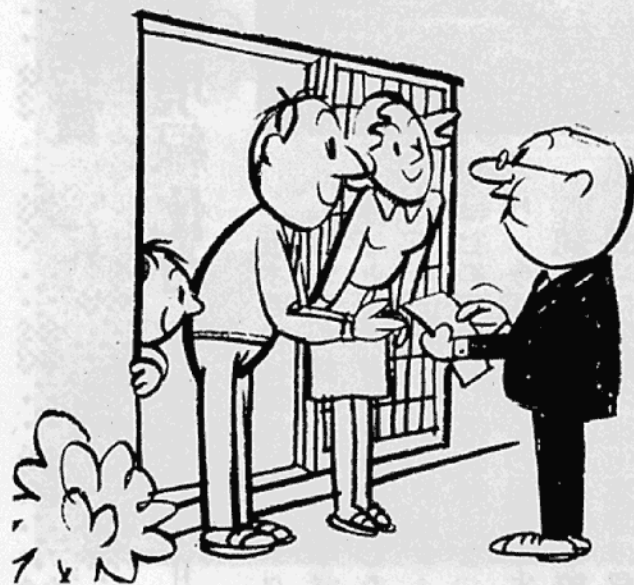
事故防止
▼自転車および原動機付自転車ならびに二輪車の安全利用の促進
昨年一年間の交通事故死者数百七十五人(県内)のうち四十九人が歩行者で、なかでも中学生以下の子供と六十歳以上のお年寄りの多いのが目立っています。また、歩行者、自転車、原動機付自転車乗車中のいわゆる「交通弱者」の死者数は百七人で、前年に比べ五人減少しておりますが、まだまだ多く、全体の六十%を占めています。一方、ドライバーの運転管理の

面から見ますと、スピード違反、酒酔い運転、過労運転によるものが五十六人と三十二%にもなっています。運転者の方は、交通ルールをよく守り、つねに「ゆずり合う」気持ちを持たないようにはしましょう。「急がないこと」を事故防止の第一と心得てください。歩行者や自転車利用者のみならず、無理な横断や急なとび出しは最も危険です。とくに、子供とお年寄りのいるご家庭は、交通ルールについて、ふだんからよく話し合っておきましょう。

明日のため今日の日本を知る調査

国勢調査

昭和55年10月1日(水)



調査のしくみ

全国を約七十五万の地域に区分して国勢調査区が設定されており、この調査区に一人ずつの調査員が配置され調査にあたります。

日光市では、全域を百六十九の調査区に区分して調査が行われます。調査員は、自治会やPTAの役員、民生委員のみならずが大部分です。半数以上の方は、これまでも調査員として経験をつんだ方ですから、わからない点は気軽にご相談ください。

調査員は、九月二十四日から三十日までの間に、みなさんのご家庭を訪問し、調査票をお配りします。ご記入いただいた調査票は、十月一日から五日の間に調査員がお伺いしますから、その時お渡し

調査のねらい

国勢調査は、全国、都道府県、市町村の人口や世帯数、年齢別人口構成、核家族や単世帯等の世帯構成を明かにして、国はもちろんだらば、市町村の地域社会に直結する行政に役立つ基本的資料を得るために行われるものです。

最近、わが国では人口の急速な高齢化の進行、出生力の低下傾向、人口移動変化、世帯数の伸びの鈍化傾向等、人口および世帯の動向に大きな変化のきざしがみられ、この動向を解明するものとしても今回の調査は重要です。

国勢調査の

「栃木県人口」は?

◆問題 十月一日に行われる国勢調査の「栃木県人口」は何人でしょうか

◆応募資格 県内に住所を有する者

◆応募方法 官製はがきに、予想人口ひとつ(訂正は無効)と住所・氏名・年齢・職業(学年・生徒・児童は学校名と学年)を記入して、栃木県企画部統計課(宇都宮市塙田一丁目一番二十号)へ。

◆応募締切り 昭和五十五年九月二十五日(当日の消印有効)

◆入賞者の決定 入賞者は、知事の公表する概数人口(昭和五十五年十二月発表予定)によって決定します。正解者多数のときは抽選。正解者のない場合は、概数人口に近い順で順位を決め、同順位のあるときは抽選で決定します。

◆賞金 一等一名 三万円、二等一名 一万五千円、三等一名 一万円、入選十名 各二千元

◆発表 新聞(下野・栃木)紙上と栃木放送で発表。入賞者にも通知します。